

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

世界中にあらゆる『人が活きるカタチ』を創造することで、人々の幸せと社会の持続的発展を実現する

売上高
3,003億円営業利益
125億円

② 中長期の経営戦略

1. 複数事業ポートフォリオの構築

人材教育・不動産・情報通信・農業公園事業で経済環境の変化に柔軟に対応できる強い経営基盤を構築

2. 人的資本への投資

最重要資産である人的資本への投資を進めその価値を高めることで社会への貢献と高い成長を実現

3. 各事業の独自ポジション確立

人材教育では受託力、不動産では事業用地創出ノウハウ、情報通信では地域トータルソリューションで差別化

4. ESG・SDGsの深化

複数視点からの社会課題アプローチで、事業を通じて社会問題解決に繋げ人々の幸せと社会の持続的発展を実現

③ 対処すべき課題

① 人材教育事業の課題

- ・労働力の確保と労働者の多様化対応。高齢者・外国人労働者の活用推進
- ・ICT・デジタル技術やロボット化による産業構造の変化への対応
- ・人材育成とリスクリングを通じた人的資本価値の向上とDX導入による生産性向上

② 不動産事業の課題

- ・単独でのマンション建替事業の実績が限定的。大規模プロジェクト推進能力の強化が必要
- ・不動産価格高止まり、建築費高騰、金利上昇リスクへの市場対応
- ・無理をしない事業展開でリスク最小限化しながら安定的成長を図る

③ 情報通信事業の課題

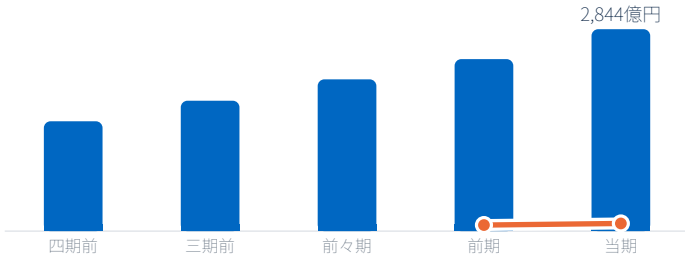
- ・販売スタッフのスキル向上と新技術知識習得が不可欠。継続的な研修・教育が必要
- ・通信キャリア料金引き下げやオンライン専用プラン提供による実店舗役割の変化への対応
- ・モバイルショップと法人ソリューション事業のノウハウ融合で地域トータルソリューションパートナーを目指す

面接で使えるポイント

- ・パーパスに基づき人材教育・不動産・情報通信・農業公園の4事業で社会課題解決に取り組む
- ・2026年度に売上高3,003億円、営業利益125億円を目標とし持続可能な成長を実現
- ・人的資本への投資を最優先としつつ、各事業で独自ポジション確立し業界での優位性を発揮

証券コード 2429

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,844億円営業利益率
3.8%財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
600万円
サービス業内 248位/524社平均年齢
46.0歳
サービス業内 54位/527社平均勤続
11.0年
サービス業内 115位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ワールドホールディングス[2429]: 変更報告書 提出者: 株

